

令和元年度 都農町立都農南小学校 自己評価書及び学校関係者評価書

評定 「4：たいへんよく取り組んでいる」「3：よく取り組んでいる方である」「2：少し改善(努力)することがある」「1：まだ改善(努力)しなければならない」

評価項目	評価指標	学校の自己評価結果コメント ○結果の考察・分析 ■改善策等	自己評定	学校関係者 評価	学校関係者評価コメント※①、②…の項目ごとにコメントをお願いします。
学力向上	① 学力向上を目指した授業の工夫・改善がなされている。	○ 昨年度までの「チャリー検定」を本年度は「南っ子検定」として実施した。昨年度に比べ内容を充実させるため、問題を難しくして内容の見直しを行った。合格者については、毎回全校集会で氏名を読み上げて表彰をしたり、各学年学級の通信等で家庭にも知らせるようにした。合格者の数値は必ずしも高いものではないが、この継続した取組は、児童の学力に対する意欲と意識づけにつながっていることを感じている。 ○ 作文・絵画等の表彰が今年度もたくさんあった。それらや新聞掲載やラジオでの作文の紹介なども多くあり、これらは意欲づけにつながっていることが明確に感じられた。 ■ 南っ子検定やチャレンジ(赤ペン先生)等の取組により児童のスキルを充実させたり、授業の支援(個別指導や少人数指導)を校内研究と合わせて、さらに進めていく。 ■ 「聞く」ことを大切にしたい指導に力を入れ、表現する意欲・技能を高めていく。			○ 検定をすることにより合格できなかった子も次はがんばろうとする意欲ができてよいと思う。 ○ 検定の取組は良いと思う。続けてほしい。 ○ 評価結果でも示されている通り、個人差はあるが、保護者の協力無しでは評価が上がるのは厳しいのではないかと考える。学校一任の考え方は、義務教育ではあり得ないと思う。上位、下位の差は家庭でフォローしていくしかないのではないかと。 ○ 「チャリー検定」を「南っ子検定」としたことにより、より親しみやすくなり、児童の学力向上に役立つと思う。 ○ これから続けていけるとよいと思う。 ○ 表彰や家庭への通信のお知らせによって子どもたちの意欲が高まることは期待できる。 ○ M R T ラジオや宮日新聞で都農南の子どもが紹介されているが、児童の成長の様子がわかり、感謝したい。
	② 家庭学習で、学年に応じた時間と内容を学習する習慣を育成している。	○ 家庭学習ががんばり週間(6月・11月)とノート展を実施し、個人差はあるものの、保護者の反応はわるくない。1年生も1時間程度の家庭学習ができるようになった。 ■ これからも、集中して家庭学習に取り組むことの呼びかけや内容の充実を啓発していく。習慣が定着しない児童へのよびかけや個別指導の工夫を行い、児童・保護者への啓発を続けていく必要がある。	保護者…2.8 児童…3.5 職員…3.0	3.4	○ 習い事(スポーツ少年団など)をしている子は、家庭学習時間はどれくらい(時間)とれているのだろうか。 ○ 検定を実施することによりそれぞれの児童の弱いところを家庭学習で補えるのでは。 ○ 全員同じ内容ではなく、個々に合わせた宿題等に取り組ませるとよいのではないかと。 ○ 保護者一人一人がだれのための勉強なのかを認識して家庭学習に取り組むとともに学力が向上すると思う。
	③ 読書に親しむ環境作りを進め、読書意欲を高める工夫がなされている。	○ 朝の読書、すきま(あいた)時間の活用により、10分以上の読書時間が確実に確保できた。また、学級の常設図書は定期的入替を積極的に行い、児童がより多くの図書に触れられるようになった。更に、町当局の配慮により、図書司書補助が定期的に配置されるようになり(2学期初めより)、図書室の環境整備・運営が充実された。 ■ 図書貸出に関して、学級差が見られる点を改善しなければならない。			○ 学校図書室の状況は、どうなっているのか。(古い本が多いのでは?) ○ 休みの日は町民図書館を利用している子どもも多いので、本が身近なものになっていると思う。 ○ 家庭では読書する習慣がない子も「学校でみんなと一緒に」という時間なら、読書時間を受け入れやすそうなので、すきま時間の活用はよいと思う。 ○ 朝の読書やすきま(あいた)時間を利用しての10分以上の読書時間を確保しているところがあるが、大変良いことだと思う。
豊かな心の育成	① 「気持ちのよいあいさつ」「相手を思いやる言葉遣い」の指導がなされている。	○ あいさつについては、児童や保護者、教師の中で少しずつ意識の違いはあるものの、地域や学校でのあいさつが少しずつよくなりつつある。また、校内で会釈をする児童が増え、場に応じたあいさつへの意識が感じられるようになってきている。 ■ 呼び捨てや友達に対する激しい言葉が聞かれることもある。全校児童が集まる場で統一した指導を行ったり、よい言葉かけを紹介したりする場面を作り、全校で意識できるようにしていく必要がある。	保護者…3.2 児童…3.2 職員…3.6	3.5	○ あいさつの声が小さいなあ…と思うときがある。 ○ 友だちに対する言葉づかいと先生・大人に対する言葉づかいの使い分けができていない子どもたちが少なからずいるようだ。 ○ 学校外の関係者(あいさつ運動時の地域の人等)にあいさつの素晴らしい子を聞くなどして集会で表彰したりするのもよいのでは…?すでにやっているのなら今後も続けてほしい。 ○ 学校側はよく取り組んでいると思う。 ○ 「気持ちのよいあいさつ」は南小学校の伝統であり、これからも、P T A 活動の柱として取り上げ、更に進めてほしい。
	② 好ましい人間関係を育てる指導がなされている。	○ 教育相談や教員間、保護者との連携を密に行うことで、児童が悩みを解決しながら、楽しく学校に登校できていることが感じられる。また、よりよい人間関係を築くことができていくことから、「仲の良い友達がいる」と答える児童の割合も多い。 ■ 保護者が抱えている家庭での子育てなどの悩みや携帯電話との接し方などについても通信や懇談で取り上げ、保護者同士、安心して我が子を見守ることができるようにしなければならない。			○ 不登校児童はいないのか。担任と保護者は情報交換ができていますが、他の先生にも伝わっているのだろうか? ○ 児童が悩みを解決できていのであれば良いと思う。 ○ 保護者のクラスの雰囲気等に対しての不安等も気にかけてほしい。 ○ 朝、登校している児童を見ていると、高学年の児童が低学年の面倒をよく見ていて、楽しく元気に登校している姿がうかがえる。
体力向上	① 家庭と連携して、健康的な生活習慣の育成が図られている。	○ すこやか週間を年間3回実施し、「早寝早起き朝ごはん歯磨き」を意識付けることができた。この結果を集計に知らせ、更に児童の個別指導を行った。また、学校保健委員会を全保護者や4～6年児童を対象に実施し、メディアとの関わりについて大人と子どもと一緒に考えることができた。 ■ 生活習慣の育成には家庭の取組に差があり、保護者への啓発が課題である。	保護者…3.3 児童…3.8 職員…3.3	3.1	○ 4～6年だけでなく、全学年を対象に、メディアに関する話をした方がよいのではないかと。 ○ 生活習慣についても親と子で同じ時間に話し合いながら考え、ルールを決める時間が設けられると保護者への啓発にもつながるのではないかと。 ○ 生活習慣の育成には、どうしても家庭との連携が不可欠であり、引き続き啓発をお願いしたい。
	② 体力づくりに挑戦する場や時間を設定し、日常的に体力向上に取り組む指導がなされている。	○ 体力テストの結果では、20mシャトルランの結果が県平均を上回っていた。持久走では、大会記録を更新する記録が出たことにもそのことが表れていると言える。業間運動の大縄跳びでは、毎回各学級の記録を出し合い、称賛するようになっている。そのような取組が、児童の意欲を高めることにつながっていると感じている。 ■ 体力テストの結果は、握力を課題としている。夏場は熱中症に配慮しつつ、日常的に無理なくできる運動を選び、実施する必要がある。			○ 晴れた日の昼休みに運動場で元気に遊んでいる様子をよく見る。いいことだと思う。 ○ 業間運動は良い取組だと思う。 ○ 近年の暑さは尋常ではないので気を付けて欲しい。 ○ 南小の体力向上は、あらゆるところで成果が出ている。これからも引き続き児童の意欲を高めてほしい。
地域連携	① 学校での授業や毎日のできごとが、家庭や地域に情報として正確に流れている。	○ 1学期に風水害の際の児童の引渡しを取り入れた避難訓練を初めて実施し、新たな備えや準備をすることができた。また、各学級の通信や学校だより等、学校ホームページ、安心メールなど、様々な手段で家庭や地域への情報発信を行ってきた。本年度は、文書が確実に届くように啓発を行ったり、メールの加入率をさらに高め、伝達事項が100%伝わることを目指すようにしてきた。 ■ 保護者による評価が2.2と低くなっていることについて、情報の発信力が今ひとつ弱く感じられているように思われる。アピールの手段を見直す必要がある。	保護者…2.2 職員…3.0	2.7	○ プリントを子どもが出さないということをよく聞く。メール加入率が100%になれば、プリント配付など全家庭が知ることができてよいと思う。 ○ 安心メールをもっと活用して情報発信してもよいのでは?最近ではメールを使わなくなってきたので、定期的に同じ時刻くらいにメールを流すことによって、チェックする人も増えるかも…。 ○ 自治会加入が任意となっており、加入されていないご家庭もあろうかと認識している。ある地区で、地区育成会の行事報告が希薄だと意見があったとのこと。残念なことに、報告しなくてもよいのでは?との意見が多数あったようで、心配される場所である。 ○ 毎月学校だより「都農南っ子」により学校の様子がよく発信されている。 ○ 3学期の南小の始業式の様子がNHKニュースで放送されて、地域住民として大変うれしかった。

【次年度の取組について】

- 大人に対する言葉づかいが気になるところがある。
- 一番気になるところは「地域連携」の部分。難しい課題だと思う。地域の人にどうすればよいか、案をもらうのもよいのではないかと。
- 保護者(家族)の意識向上及び地域連携は必須と思う。生活習慣はすべての意識向上へとつながると思う。